

特定非営利活動法人 山の自然学クラブ 第 20 回(令和 3 年)通常総会のご案内

予定

2021 年 3 月 3 日～12 日(金)

議案の提示(ホームページ上および郵送)

メールおよびはがきによる意見・賛否の徴収期間とします

正会員のみなさんはメールもしくははがきで議決／委任をご連絡下さい

(～3 月 18 日 議案の修正・確定 この日までに議案の承認不承認のとりまとめを行います)

2021 年 3 月 19 日(金) 16 時より

総会の開催(オンライン・zoom ミーティングを利用)

理事長からのごあいさつ および承認された議案について

担当理事から説明をさせていただきます。質問等も受け付ける予定です。

当日参加をご希望 かつ 可能な方はオンライン参加して下さい。

ミーティングの URL は 2 日前までに連絡メールで配信します。

終了後 議事録を作成 ホームページに公開／会員に郵送します。

正会員のみなさまへ 議案への議決権行使方法について ー以下いずれかでお願ひします。

(1)メールによる議案の賛否 事務局からメールでご案内しますので、返信する形で各議案への承認／不承認を送信して下さい。その場合、はがきの郵送は必要ありません。

(2)総会議案に議決についてのはがきを同封いたします。3 月 12 日までに投函して下さい。

修正提案、ご質問などは上記 2 つに加筆・同封する形でお届け下さるようお願いいたします。

3 月 17 日までに事務局到着分にて採決を実施させていただきます。

結果は総会および議事録にてご報告いたします。

特定非営利活動法人 山の自然学クラブ
第 20 回(令和 3 年)通常総会 議案

2021 年 3 月 19 日 (金)
オンラインによる開催

議 案

第 1 号議案	令和2年・2020 年度 事業報告	p 3
第 2 号議案	令和2年・2020 年度 会計報告	p 7
	監 査 報 告 書	p 10
第 3 号議案	令和3年・2021 年度 事業計画	p 11
第 4 号議案	令和3年・2021 年度 事業予算	p 15
第 5 号議案	役員の改選	p 16

第1号議案 2020年度 事業報告(2020・令和2年1月1日～12月31日)

コロナ禍続く一年で、活動は半分が自粛。20周年は企画すら出来ませんでした。しかし会主催の催しについては、感染対策をしっかりと行い、集中講座が開催できた事は、熱心な担当理事及び会員と参加下さった多くの方々のお陰です。お礼申し上げます。さて、コロナは罪業ばかりが目立ちますが、オンライン講座という距離や時間に関係なく開催できるスタイルを定着させました。われわれには朗報で会員も微増です。以下、内容と成果はそれぞれの担当理事より報告いたします。 大蔵理事長

1. 令和2年 通常総会・記念講演

開催年月日： 2020年2月29日(土)
開催場所： 日本山岳会 会議室(東京都千代田区)
記念講演： 飯田 肇 氏 「日本の氷河―最新の研究現場から」
参加者： 32名 (会員29名 一般3名)

2. 山の日記念シンポジウム

開催年月日： 2020年8月29日(土)
開催場所： 新宿歴史博物館講堂(東京都新宿区) + 録画配信
テーマ： 「日本の山と自然をみつめよう―魅力再発見」
講師： 小泉武栄氏 橋本祐紀典氏 大蔵喜福氏
参加者： 37名 (会員15名 一般22名) オンラインチケットを含む

3. 活動部会 (現地活動の日数、参加者人数) ※後頁に主要行事の日程順一覧表を別添

- ・富士山森林復元活動 12日 参加者118名 (会員54名 一般64名)
- ・御宿里山保全活動 現地視察のみ 参加者2名(会員)
- ・高山植生モニタリング活動

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で植生調査は中止し、10月1日に
温度計の回収のみを行いました。

- ・インタープリター活動(志賀高原)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で活動は中止しました。

- ・北上・三陸活動 2日 参加者1名(シンポジウムへの参加)

現地では視察と打ち合わせのみとし、現地活動・自然観察会・講座は実施
しませんでした。

4. 山の自然学講座 (現地講座・室内講座第 449 回～467 回) 次頁に年間一覧表を別添

・基礎連続講座「山の自然学講座 2020」 2月1日～11月3日

室内講座 7 回と現地講座 6 回の全 13 回 参加者 196 名

・現地講座 1 回実施 参加者 7 名(会員 6 名、一般 1 名)

・室内講座 1 回実施 参加者 17 名(会員 15 名、一般 2 名)

※講座は活動中のものを除く、単独開催の講座について報告

5. 四季の行事と会員懇談会 ・季節の行事と会員懇談会 2 回実施予定

(新年餅つき山行・景信山、お花見会・井の頭公園を計画)

天候および新型コロナウイルス感染症拡大の影響で行事は中止しました。

6. 会報の発行

・年会報「山から始まる自然保護 第 19 号」2020 年 5 月 27 日発行、116 ページ

7. 会員数 (2020 年 12 月現在)

・正会員 100 名・休会 14 名 (前年 102 名), うち特別会員 2 名

・サポート会員 29 名 (前年 27 名)

・賛助会員 3 団体 1 名 (前年 3 団体 1 名)

8. その他の事業

・山の自然学カレンダーの発行

2021 年版 1 月～12 月 2020 年 12 月作成・発行

広報等に使用可とする写真を会員から公募し、その中から選出して作成

・カレンダー応募作品発表「山の自然学への第一歩」の開催

カレンダー作品展は報告会とし、2020 年 12 月の会員発表会にて行った

・ホームページの運営

・会員宛案内メールマガジンの配信

・メーリングリストの運営 (会員連絡用メール登録とは別、参加申込み制)

相互通信用のメーリングリスト 35 名が参加

・関連団体行事等の後援・協力

高尾の森づくりの会／三宅島の緑化活動

阿蘇の草原再生

2020年事業報告 特記事項（主に山の自然学講座担当 室村理事の報告より）

(1) 講師メンバーおよび内容の多様化を目指して

同じ講師でもテーマ・内容を多様に設定することをお願いした。またこれまで「地質学」関係の講座担当の目代先生が仙台へ転勤となったため、新たに推薦頂いた柿崎喜宏先生（東京大学特任研究員）にご担当頂いた。初めての2020年は熱意ある講義で好評だった。大いに期待していきたい。

(2) 山の自然学講座2020は2月1日に開講

第1回の室内講座は受講者24名、その他役員などを含め30名を超える参加者で、盛況のうちに船出した。開講スタート時点の申込み者は34名、その中でクラブに新たに入会された方が7名あり、ここ数年の新入会員の多くが講座をきっかけにしたものであり、ありがたい傾向である。

(3) 講座を開講したものの ー新型コロナの影響甚大に

第3回室内講座、第1回現地講座を行ったところで、コロナ感染者の増加傾向おさまらずその後の日程分は一時中止、延期した。講座担当者と役員とで協議して残りの講座の再開とともにコロナ禍の中でも実施できる新たな講座を考えることになった。8月に現地講座をメインにして行う方向とし、3回の現地特別講座と「山の日記念シンポジウム」を実施する計画ができた。8月から受講者へ講座再開の知らせをし、ホームページでも募集に取り組んだ。受講申し込みが来るだろうか？と心配しながらだったが、心配に反して受講申し込みが続き、大成功であった。また、何回かの講座では講師の先生方にご協力いただき、講座を動画撮影してユーチューブで視聴できるようにした。この反応もよく大勢の方から視聴申し込みがあった。遠方からも視聴申し込みがあった。今後どのように活用していくか大いに期待が持てる動画撮影の企画だった。なお撮影には自然学クラブの活動を支え、支援してくれている玉國氏に、機材調達から撮影・編集まで大変お世話になった。玉國氏に感謝申し上げます。

(4) 運営の負担も

8月から講座を再開したものの、受講者の中には講座出席辞退もあった。そこで、追加の講座を含めて申し込み講座以外への振替受講を進めるとともに、特例としてキャンセル、受講料の返還に応じることにした。担当者で協力して受講者の理解を求め、対応にあたった。会計担当、受付スタッフは大変なご苦勞をしたことと思う。そのような中でも最後の講座まで新たな受講申し込みが続き、受講者数は100名にもなった。これは今までの山の自然学講座ではなかったことで、コロナ感染下で苦勞したことが報われたともいえる。事務局、およびスタッフのメンバーに心から感謝したい。

2020年 活動部会の主要行事および山の自然学講座 日程順一覧

2020年 主要な活動・行事・講座等の日程順一覧（報告）				特定非営利活動法人 山の自然学クラブ				
実施日程 2020年	活動種別	実施内容（主な活動）	場所・会場	講師・案内・協力	担当者	参加 人数	内訳	
							会員	一般
2月1日	基礎連続	山の自然学講座2020・室内(1)「自然観察の視点」と「氷河時代について」(449回)	日本山岳会	小泉 武栄	室村 聡	28	17	11
2月18日	基礎連続	山の自然学講座2020・室内(2)「日本の成り立ちと山の地質」(450回)	ici CLUB 神田	柿崎 喜宏	室村 聡	19	8	11
2月29日	総会	総会と記念講演・山から始まる自然保護2020(451回)講演「日本の氷河-最近の研究から」	日本山岳会	飯田 肇	大蔵 喜福	32	29	3
3月1日	現地・首都圏講座	多摩川シリーズ 野鳥観察会(452回)	登戸周辺	門司和夫	門司和夫	7	6	1
3月3日	基礎連続	山の自然学講座2020・室内(3)「高山植物の生活史と近年の気候・植生の変化」(453回)	ici CLUB 神田	下野 綾子	室村 聡	14	4	10
3月20日	基礎連続	山の自然学講座2020・現地(1)「多摩地域の地形地史・切欠のカタクリ」(454回)	あきる野	辻村 千尋	室村 聡	14	5	9
4月5日	四季・懇談	井の頭公園 お花見会(自由参加)	井の頭公園		吉川正幸			(中止)
4月11日	四季・懇談	餅つき・鍋山行/景信山周辺	景信山頂	秦 和寿	秦 和寿			(中止)
5月上旬	現地講座	樹木医と東海丘陵要素を観察しよう	愛知~木曽	石井誠治	中村華子			2021年に延期
5月	共催・後援行事	高尾の森づくりの会活動：三宅島の緑化活動	三宅島	高尾の森づくりの会	吉川正幸			協力行事
7月5-7日	現地講座	とっておき！志賀高原	志賀高原	山の自然学指導員	杉山顕一			(中止)
7月18-19日	富士山森林復元	夏の活動/富士山現地講座(455回)	富士山	自然再生活動部会	中村華子	8	6	2
8月1-15日	インタープリター	志賀高原 クリスマスチャニア「夏休み自然教室」	志賀高原	山の自然学指導員	杉山顕一			(中止)
8月15-18日	里山・自然再生	阿蘇の草原再生活動	阿蘇	自然再生活動部会	中村華子			協力行事
8月22日	基礎連続	山の自然学講座2020・現地(2) 五感で学ぼう！自然学-樹木の生き方暮らし方：明治神宮(456回)	多摩森林科学園	石井 誠治	室村 聡	13	6	7
8月29日	室内講座	山の日記念シンポジウム・日本の山と自然をみつめよう-魅力再発見(457回)	新宿歴史博物館講堂+録画配信	小泉武栄・橋本祐紀典・大蔵喜福	中村華子	37	15	22
9月12日	基礎連続	山の自然学講座2020・現地(3) 樹木の生き方暮らし方：川崎・東高根森林公園(458回)	多摩森林科学園	石井 誠治	室村 聡	12	7	5
9月15日	基礎連続	←5月12日 山の自然学講座2020・室内(6)「日本の動植物相の起源-1分布と地史」(459回)	家庭クラブ会館	池田 明彦	室村 聡	9	4	5
9月26-27日	富士山森林復元	種子採取および樹木の観察会(1)/富士山現地講座	富士山	自然再生活動部会	中村華子	9	6	3
9月29日	基礎連続	←4月21日 山の自然学講座2020・室内(5)「雪と氷の世界~魅力的で危ない物質」(460回)	東京ボランティアセンター	佐藤 篤司	室村 聡	8	4	4
10月1日	モニタリング	調査プロットの温度計データの回収	木曽駒周辺		下野綾子	1	1	
10月3日	基礎連続	←4月29日 山の自然学講座2020・現地(4) 樹木の生き方暮らし方：多摩森林科学園(461回)	多摩森林科学園	石井 誠治	室村 聡	17	5	12
10月10-11日	富士山森林復元	種子採取および樹木の観察会(2)/富士山現地講座 協力：東京農大・緑化学研究室(462回)	富士山	自然再生活動部会	中村華子	19	6	13
10月17-18日	富士山森林復元	種子採取および樹木の観察会(3)/富士山現地講座	富士山	自然再生活動部会	中村華子	16	7	9
10月20日	基礎連続	←4月7日 山の自然学講座2020・室内(4)「したたかな植物たち-植物の生存戦略や繁殖戦略」(463回)	家庭クラブ会館+録画配信	多田 多恵子	室村 聡	22	7	15
10月31日	基礎連続	←5月23日 山の自然学講座2020・室内(7)「アウトドアで考える自然学」(464回)	エコギャラリー新宿	大蔵 喜福	室村 聡	4	0	4
11月3日	基礎連続	←6月6日 山の自然学講座2020・現地(5) 紅葉の三頭山・ブナ林観察(465回)	三頭山・檜原	増澤 直	室村 聡	12	2	10
11月10日	基礎連続	山の自然学講座2020・現地(6) 鳩ノ巣渓谷(466回)	鳩ノ巣渓谷	小泉武栄	室村 聡	24	7	17
10月-12月	里山・自然再生	阿蘇の草原再生活動・種子採取	阿蘇	自然再生活動部会	中村華子			3回実施(協力行事)
11月予定	現地・首都圏講座	炭焼き体験研修会/タヤけ小やけふれあいの里	八王子	DAIGOエコロジー村	秦 和寿			(中止)
12月20日	室内講座	会員の活動発表会(467回)(/2021年カレンダー応募発表会)	四谷スクエア	発表：会員諸氏		17	15	2
	現地講座	信州・首都圏など複数回を予定						延期・2021年検討中
	御宿里山	観察会と刈り払い、現地調査・作業道の整備	御宿町	自然再生活動部会	中村華子			現地視察のみ実施
	北上・三陸	海岸植物の保全活動・調査	石巻~気仙沼	自然再生活動部会	中村華子			現地視察のみ実施
	北上・三陸	屋敷林の再生活動・種子採取など	気仙沼	自然再生活動部会	中村華子			

2020年、なかなか状況の見通せない中、多くの行事をご協力のもと開催実施することができました。会員各位、ご参加の皆様、ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

第2号議案 2020年度(令和元年度) 会計報告

活動計算書(正味財産増減計算書)

2020年(令和2年)度【2020年1月1日から2020年12月31日まで】

(単位 円)

科目	2020令和2年度	2019令和元年度	差額
I 経常収益の部			
1.受取会費			
会費収入	411,000	211,800	199,200
2.受取寄付金・助成金			
受取寄付・助成金	1,594,522	1,176,865	417,657
3.事業収益			
講座事業参加料	854,054	1,389,430	-535,376
4.その他収益			
利息・雑収入	60,502	234,254	-173,752
経常収益合計 (A)	2,920,078	3,012,349	-92,271
II 経常費用の部			
1. 事業費(講座事業など)			
講師謝礼	852,000	590,880	261,120
機材費用	0	81,745	-81,745
会場費	97,710	155,750	-58,040
旅費・交通費	643,302	1,136,914	-493,612
教材費・印刷費	446,972	414,655	32,317
会報印刷費	225,225	296,400	-71,175
その他	170,039	58,983	111,056
事業費計	2,435,248	2,735,327	-300,079
2. 管理費			
日当手当	0	0	0
印刷費	10,638	47,216	-36,578
交通費	0	0	0
事務用消耗品費	17,600	23,525	-5,925
通信費	192,400	125,026	67,374
保険料	81,278	63,000	18,278
会議費	0	11,000	-11,000
諸会費	57,000	57,000	0
雑費	19,640	27,005	-7,365
管理費計	378,556	353,772	24,784
経常費用合計 (B)	2,813,804	3,089,099	-275,295
税引前 当期正味財産増加額	106,274	△ 76,750	183,024
法人税・住民税及び事業税	0	0	0
当期正味財産増加額 (C)	106,274	△ 76,750	183,024
前期繰越正味財産額 (D)	474,717	551,467	-76,750
次期繰越正味財産額 (C)+(D)	580,991	474,717	106,274

2020(令和2)年12月31日 現在 **貸借対照表** (単位 円)

科目	2020令和2年度末	2019令和元年度末	差額
I 資産の部			
1.流動資産			
現金	12,908	0	12,908
預金・貯金	778,083	474,717	303,366
預け金	0	0	0
前払費用	0	0	
流動資産合計	790,991	474,717	316,274
2.固定資産			
什器備品	0	0	
固定資産合計	0	0	
資産合計	790,991	474,717	316,274
II 負債の部			
1.流動負債			
前受会費	210,000	-	210,000
流動負債合計	210,000	0	210,000
2.固定負債			0
負債の部合計	210,000	0	210,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	474,717	551,467	-76,750
当期正味財産増加額	106,274	-76,750	183,024
正味財産合計額	580,991	474,717	106,274
負債及び正味財産合計	790,991	474,717	316,274

重要な会計方針

計算書類の作成はNPO会計基準(NPO法人会計基準協議会)によっています。

固定資産は償却済であるため固定資産の注記および増減内訳表の作成は省略。

2020令和2年12月31日現在 **財産目録** (単位 円)

科目	摘要	金額	
資産の部			
現金	現金	12,908	12,908
銀行預金	三井住友銀行港南台支店	205,421	
	三井住友銀行港南台支店2	256,006	
	郵便振替口座	316,656	
	預金及び貯金合計		778,083
	資産合計		790,991
負債の部			
前受金	前受会費	210,000	210,000
	負債合計		210,000
	正味財産		580,991

令和2年度（2020） 計算書類の注記

特定非営利活動法人 山の自然学クラブ

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO会計基準（NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法 該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法 該当なし
- (3) 引当金の計上基準 該当なし
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理 該当なし
- (6) 消費税等の会計処理 税込方式によっております。

2. 事業別損益の状況

プロジェクト別活動実績

(単位千円)

事業内容	2020(令和2)年度			2019(令和元)年度		
	収入	費用	差額	収入	費用	差額
会費・寄付/会務事務費	460	394	66	460	383	77
広告料・寄付/会報制作費	195	241	-46	0	296	-296
カレンダー 販売/費用	60	71	-11	227	138	89
室内・現地講座	0	0	0	155	144	11
信州講座	0	0	0	44	39	5
一般向け講演会	69	73	-4			0
自然学集中講座	785	684	101	605	479	126
インタープリター-奥志賀	0	0	0	227	227	0
雷鳥保護	0	0	0	0	0	0
木曾駒高山長期モニタリング	0	0	0	173	173	0
表富士自然再生活動	1,036	1,036	0	944	1,033	-89
御宿里山作業	0	0	0	0	0	0
氷河調査と氷河湖対策			0			0
三陸現地講座	0	0	0	0	0	0
三陸復興活動	315	315	0	177	177	0
事業収入/事業費用合計	2,460	2,420	40	2,552	2,706	-154
総合計	2,605	2,499	106	3,012	3,089	-77

会報の広告賛助寄付は、会報製作の収入に含んでおります。

各プロジェクトでの寄付、雑収入は、各プロジェクトの収入に含んでおります。

- 3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳 該当なし
- 4. 使途等が制約された寄附金等の内訳 該当なし
- 5. 固定資産の増減内訳 該当なし
- 6. 借入金の増減内訳 該当なし
- 7. 役員及びその近親者との取引の内容 該当なし
- 8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

監 査 報 告

特定非営利活動法人山の自然学クラブの令和 2 年度（2020 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日まで）の監査について報告します。

1. 私は監事として、理事会に出席し、必要に応じて理事に質問をして、理事の業務執行の状況を監査いたしました。
2. 令和 2 年度(2020 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日まで)活動報告書、及び 2020 年（令和 2 年）12 月 31 日現在の貸借対照表、ならびに財産目録が、正確であることを確かめ、財務担当理事に質問を行うなどして特定非営利活動法人山の自然学クラブの財産の状況を監査いたしました。
3. 以上の監査を実施した結果、令和 2 年度の特定非営利活動法人山の自然学クラブの業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められませんでした。

2021 年（令和 3 年）3 月 3 日

特定非営利活動法人 山の自然学クラブ

監事 肥後 松男 

監事 長谷川 博文 

第3号議案 令和3年度(2021年度)事業計画案(2021・令和3年1月1日～12月31日)

コロナ禍はいつまで続くか誰にも分かりませんが、元に戻すという作業よりも、コロナ変化による事態を基盤に、コロナ対策を練った新機軸の企画や講座を作る方向に転換を図りたく、本年の準備もすでに室内を屋外にと、多くの企画がブラッシングしています。臨機応変も大変ですが、オンラインがその嚆矢になってくれると嬉しく思います。なお、20周年記念は意義ある小冊子の発行が有力です。またカレンダーの作成や販売は、外部の評判もよく広く我が会の認知に役立っています。次年度も会員の奮起を期待します。

1. 通常総会・記念講演

2021年3月19日(金)16時より

オンラインにて開催(zoomミーティングを利用)

2. 20周年記念事業

総会でご承認の後、いくつかの企画を立ち上げ、参加する会員を募集して実施したい。以下は、理事から提案があった事業計画例。参加会員と検討しながら企画を進めていくこと、および20周年記念事業への寄附を募らせていただくことを本総会では提案。

(1) カレンダー作成のため募集した作品から会員が解説やコメントをつけて小冊子を作成。

(デジタル版、まとまったら出版も検討)。2021年会員発表会の際に経過・内容をお披露目する。

(2) 会員が作成する資料集・写真を印刷して有料で配布する。

3. 活動部会

- ・インタープリター活動(志賀高原) 担当理事: 杉山 顕一
- ・インタープリター活動(首都圏) 担当理事: 石井誠治・中村華子
- ※丸の内エコツツェリアで年1回程度セミナー開催が可能
- ・富士山森林復元活動(自然再生活動部会) 担当理事: 中村華子
- ・御宿里山保全活動(自然再生活動部会) 担当理事: 中村華子
- ・高山植生長期モニタリング活動 担当理事: 下野綾子
- ・北上・三陸活動 担当理事: 中村華子

4. 現地講座・室内講座

基礎講座となる「山の自然学講座2021」全11回、フィールドや現場を見ながら自然を体験する・学ぶ現地講座、室内講座を開催します。各活動の中でも適宜現地講座を行います。

・山の自然学講座2021 担当理事: 室村 聡

室内講座6回と日帰り現地講座5回の全11回を実施(2021年2月～6月に開催)

・現地講座(山の自然学講座)

信州講座 担当理事: 池田昌史・権藤 司

志賀高原講座 担当理事: 杉山 顕一

首都圏講座 担当理事: 秦 和寿・門司和夫

三陸講座 担当理事: 中村華子

そのほか、随時開催

・室内講座(山の自然学講座)

- ・自然学ツアー／現地講座(旅行会社主催のツアーを企画もしくは講師派遣)

※他団体と共催の行事なども積極的に検討。適宜・随時検討します

5. 四季の行事と会員懇談会 会員の発議により適宜、計画・開催

6. 会報の発行 担当理事:池田昌史・権藤司・中村華子
・年会報「山から始まる自然保護 第20号」の発行 2021年4月刊行予定

7. その他の事業

- ・山の自然学カレンダーの製作／写真の公募～選考会
- ・カレンダー応募作品展／報告会「山の自然学への第一歩」 12月開催予定
- ・普及促進のための講習会の企画運営 担当理事:大蔵喜福
- ・ライチョウ保護の啓蒙活動 担当理事:大森弘一郎
- ・ホームページの運営 担当理事:下野綾子
- ・会員ブログの運営 担当理事:中村華子
- ・会員連絡用メールの管理・運営
- ・メーリングリストの運営(会員連絡用メールとは別、参加申込み制)
担当理事:中村華子
- ・後援行事:5月 日本山岳会高尾の森づくりの会 三宅島の緑化活動
- ・協力活動:8月および10月 阿蘇の草原再生と自然体験

活動部会の事業内容と2021年度の予定

- 志賀高原インタープリテーション活動 担当理事:杉山顕一

活動WEB: <https://shiga-shizen.jimdofree.com/>

毎年、奥志賀のペンション「シャレークリスチャニア」では山の自然学クラブと共催で志賀高原の自然を散策しながら体験し学んでいただく「夏休み自然教室」を開催しています。山の自然学クラブの会員がボランティアのインタープリターとして、ペンションの宿泊客を対象に、志賀高原の多様な自然を案内して、一緒になって自然の不思議、魅力、素晴らしさを感じてもらおうインタープリテーション活動＝ガイドウォークを行います。

募集: インタープリテーション活動をしたい人、インタープリテーション活動を体験したい人を募ります。ミニトークは自然に関するものであれば、テーマ・内容は自由です。ともに楽しみましょう。

2021年活動日程: 8月1～15日

活動内容: ガイドウォーク(昼)、ミニトーク(夕食後) ※PC、プロジェクター有

- 高山植生の長期モニタリング 担当理事: 下野 綾子

活動WEB: <http://www.shizen.or.jp/monitoring/>

木曾駒ヶ岳をはじめとする高山帯で植生の長期モニタリングを行っています。長期モニタリングとは、自然の定期健診です。できるだけ長く同じ方法で記録することで、自然の変化を知り、悪い兆候があれば早めにとらえることを目的としています。

2021年活動日程: 8月上旬 木曾駒周辺の現地調査

活動内容:継続調査プロットの温度計データの回収・植生調査と写真撮影を行います

自然再生活動部会

担当理事:中村 華子

森林は様々な形で私たちに恩恵を与えてくれる緑の社会資本だと考えています。森にも様々な形がありますが、それぞれを大切に作る取り組みを行います。今年度も下記 3 地域を中心に活動します。三陸では地域振興にも役立つような活動を引き続き検討し、取り組みます。

(1) **富士山協定林 森林復元活動**:富士山の国有林で自然の森づくりを進めています。

活動 WEB: <http://shizen.or.jp/fuji/>

「人工林荒廃地→天然林」へ戻していく取り組みです。受け入れ団体、参加者のさらなる拡大を目指します。自然をより深く理解しながら活動するため調査活動や富士火山や天然林の観察会も実施。

(2) **御宿協定林 里山保全活動**:森林の手入れなどを通じて里地・里山を保全していく取り組みです。現地は典型的な谷戸地形と伝統的な農法の水田が残る地域で希少種も多く見られます。20年以上放置された造成地跡、斜面(人工林、二次林、自然林)、水田跡、湿地周辺の山林が主な対象地です。継続的な保全、再生活動、環境調査に加えてトレイルの開拓などを通じた活性化活動を検討しています。

(3) **自然再生活動／三陸**:屋敷林の再生・創出活動と海岸植物の保全・育成

活動 WEB: http://shizen.or.jp/tohoku/nativeplant_project.html

気仙沼の海への森をつくる活動への協力から発展させ、屋敷林の再生活動に取り組みます。海岸林再生・保護活動、地域性種苗の生産協力、希少種の多い海岸植物の採集・保全・育成も継続します。

(4) **阿蘇の草原再生活動**:国内では貴重となっている草原生態系の保護を含む維持管理

阿蘇市波野地区の体験交流施設やすらぎ交流館などいくつかの団体と連携しながら進めている協働事業です。地域の植物を活用した復旧、自然再生活動に取り組み始めました。

2021年活動日程:8月に草原観察会と刈り払い試験の実施、10月に草原再生と種子採取を予定

北上・三陸の活動

担当理事:中村 華子

活動 WEB: <http://shizen.or.jp/tohoku/>

地域の自然を掘り下げ、再生・保全に取り組みます。地域の自然とともに暮らす人々に寄与すること、自然の価値を高め、保全しながら活用することを目的とします。

(1) **三陸現地講座の連続実施**:地元学講座とエコツアー、地産資源の掘りおこし

地域の魅力を掘り下げ、理解を進める講座を行います。地元の団体・地域の方との協働、共催を増やすことを目指します。旅行会社主催のツアーも企画できれば行います。

(2) **地産資源の活用、地域振興に貢献するプロジェクト**:地産資源を活用した地域間交流と貢献

現地状況の変化にあわせ、地域に貢献できる活動を検討し継続します。体験農園・果樹園を活用した地域活性化や体験学習、地産品／特産品の創出など地域のみなさんと協働、協力します。

四季の行事と懇談会

担当者 吉川 正幸、秦 和寿、ほか

季節を感じ、会員相互の交流を深める行事として、四季の行事と懇談会などを実施します。

例年 1月に餅つき山行、4月に井の頭公園のお花見会等を実施しています。その他会員からの企画により適宜、企画・実施します。(2021年4月のお花見会はコロナ禍のため中止します)

特定非営利活動法人 山の自然学クラブ

2021年 主要な活動・行事・講座 日程順予定一覧表（未定のものなど含みます）

実施日程 2021年	活動種別	実施内容（主な活動）	場所・会場	講師・案内	担当者	参加 人数	内訳	
							会員	一般
2月6日	基礎連続	山の自然学講座2021・室内(1)「山の自然学-自然観察の視点」 「日本とヨーロッパアルプスを比較する」	四谷グラッドスペース +オンライン	小泉 武栄	室村 聡	25	13	12
2月16日	基礎連続	山の自然学講座2021・室内(2)「日本の成り立ちと山の地質」 (469回)	四谷グラッドスペース +オンライン	柿崎 喜宏	室村 聡	26	13	13
3月2日	基礎連続	山の自然学講座2021・室内(3)「日本の植生」	四谷グラッドスペース +オンライン	増澤 直	室村 聡			
3月19日	総会	定時総会（オンライン・書面開催）		大蔵喜福				
3月16日	基礎連続	山の自然学講座2021・室内(4)「したたかな植物たち-生存と繁殖の戦略」	オンラインのみ	多田多恵子	室村 聡			
3月27日	基礎連続	山の自然学講座2021・現地(1) あき野の「多摩地域の地形地史/東京にカタクリのある不思議」	あき野	小泉 武栄	室村 聡			
4月20日	基礎連続	山の自然学講座2021・室内(5)「雪と氷の世界～魅力的で危ない物質」	東京ボランティアセンター	佐藤篤司	室村 聡			
4月24日	基礎連続	山の自然学講座2021・現地(2) 五感で学ぼう！自然学-樹木の生き方暮らし方：小石川植物園	小石川植物園	石井 誠治	室村 聡			
4月28-29日	現地講座	樹木ハカセと東海丘陵要素を観察しよう	愛知～飯田市周辺	石井誠治	中村華子			
4月30-5月1日	現地講座	遠山郷と秋葉街道/石井先生と旧遠山森林鉄道を歩く	南信濃・遠山郷周辺	大蔵喜福	中村華子			
5月8日	基礎連続	山の自然学講座2021・現地(3) 三頭山「三頭山の地形と植生観察/ブナ林の現状」	三頭山・檜原	増澤 直	室村 聡			
5月29日	基礎連続	山の自然学講座2021・現地(4) 深大寺周辺「国分寺崖線の緑と湧水・周辺景観を作る自然」	深大寺周辺	池田明彦	室村 聡			
6月6日	基礎連続	山の自然学講座2021・現地(5) 猿橋・岩殿山「地質と地形、植生の関係を観察しよう」	猿橋・岩殿山	小泉 武栄	室村 聡			
6月19日	基礎連続	山の自然学講座2021・室内(6)「高山植物の多様性と近年の植生変化-なぜモニタリングが必要か」	東京ボランティアセンター	下野綾子	室村 聡			
7/4-7/6予定	現地講座	とっておき！志賀高原	志賀高原	山の自然学 指導員	杉山顕一			
7月-8月予定	富士山森林復元	夏の活動/富士山現地講座	富士山	自然再生活 動部会	中村華子			
8月1-15日	インタープリター	志賀高原 クリスチャニア「夏休み自然教室」	志賀高原	山の自然学 指導員	杉山顕一			
8月上旬	モニタリング	調査プロットの温度計データの回収・植生調査	木曽駒周辺		下野綾子			
8月予定	里山・自然再生	阿蘇の草原再生活動	阿蘇	自然再生活 動部会	中村華子			協力行事
9月予定	富士山森林復元	種子採取および樹木の観察会（1）/富士山現地講座 協力：東京農大・緑化学研究室	富士山	自然再生活 動部会	中村華子			
9-11月予定	里山・自然再生	阿蘇の草原再生活動・種子採取	阿蘇	自然再生活 動部会	中村華子			協力行事
10月予定	富士山森林復元	種子採取および樹木の観察会（2）/富士山現地講座 協力：東京農大・緑化学研究室	富士山	自然再生活 動部会	中村華子			
12月	室内講座	会員の活動発表会・20周年記念 （/2022年カレンダー応募発表会）		発表：会員諸氏				
秋以降実施	現地・首都圏講座	多摩川シリーズ 野鳥観察会		門司和夫	門司和夫			
時期未定	北上・三陸	海岸植物の保全活動・調査	石巻～気仙沼	自然再生活 動部会	中村華子			
時期未定	北上・三陸	屋敷林の再生活動・種子採取など	気仙沼	自然再生活 動部会	中村華子			
時期未定	御宿里山	観察会と刈り払い、現地調査・作業道の整備	御宿町	自然再生活 動部会	中村華子			
	室内講座	上記のほか複数回を予定						
	現地・首都圏講座	上記のほか複数回を予定						
	現地講座	信州など複数回を予定						

第4号議案 2021年度(令和3年度)事業予算案 (プロジェクト別)

活動予算書

(単位千円)

事業内容	2021年度 (令和3年度)予算			2020年度 (令和2年度)予算		
	収入	費用	差額	収入	費用	差額
会費収入/会務費用合計	530	450	80	455	422	33
会報広告料・寄付/会報制作費	50	241	-191	30	300	-270
カレンダー 販売寄付/費用	150	75	75	150	75	75
室内・現地講座	200	200	0	200	200	0
信州講座	50	48	2	50	48	2
一般向け講演会	200	200	0	300	230	70
自然学集中講座	650	550	100	400	380	20
インタープリター奥志賀	220	220	0	220	220	0
雷鳥保護	10	10	0	10	10	0
木曾駒高山長期モニタリング	170	170	0	170	170	0
表富士自然再生活動	1,000	1,000	0	1,100	1,000	100
御宿里山作業	50	50	0	50	50	0
氷河調査と氷河湖対策	0	0	0			0
三陸現地講座	100	100	0	100	100	0
三陸復興活動	500	500	0	200	200	0
事業収入/事業費用合計	3,350	3,364	-14	2,980	2,983	-3
総合計	3,880	3,814	66	3,435	3,405	30

会報の広告賛助寄付は、会報製作の収入に含んでおります。

各プロジェクトでの寄付、雑収入は、各プロジェクトの収入に含んでおります。

第5号議案 特定非営利活動法人山の自然学クラブ 役員の改選について

現在の役員は、2019年3月1日から就任し、2021年2月をもって任期満了になりますので、本定時総会において次期役員の選任をお願いするべきところです。

しかし、最近の新型コロナウイルス感染症の流行の拡大により、次期役員の選出、候補者への依頼等は著しく困難な状況にあります。そこで、理事会からは、以下のご提案を付議させていただきます。なにとぞご承認下さるよう お願い申し上げます。

- (1) 役員の改選を1年延期し、来年（令和4年）定時総会にて行うこと。
- (2) そのため現役員の任期を1年間延長すること。
- (3) ただし、ご本人の体調不良により以下役員の解任 および 後任者の選出をお願いしたい。

(3) について

傍島夏生理事の辞任が申し出られており、理事会では総会に本件を付議することが承認されました。後任として、正会員 吉岡勝則さんを推薦いたします。

(参考)

なお、山の自然学クラブ定款では、次のように定められています。

<第16条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。>

<第18条 役員が次の各号の一に該当するに至ったときは、総会において正会員総数の4分の3以上の議決により、これを解任することができる。(1) 心身の故障、その他の事情により職務の遂行に堪えないと認められるとき。 以下省略>

※なお、東京都等、監督官庁への公式報告については定款通り、改選したものとして届け出を行います（継続する役員は重任したこととして届け出をさせていただきます）。あわせてご了承下さい。

2020年度 役員

理事 池田昌史、石井誠治、大蔵喜福（理事長）、大森弘一郎（会長）、権藤 司、下野綾子、

杉山顯一、傍島夏生、中村華子（副理事長）、秦 和壽、室村 聡、門司和夫、吉川正幸

監事 長谷川博文、肥後松男